



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。



平成28年度 高知市教育研究所 研究員15名 始動!!

今年度は、15名の研究員がそれぞれの領域において研究を行います。

各領域の研究内容は、本市の教育課題解決につながるものであり、これからの期間、各研究員が設定した研究テーマに基づき、教育研究所もともに、先進的かつ地道な研究活動に取り組んでまいります。そして、年度末には、研究の成果を研究紀要としてまとめ、各校・園にお届けいたしますので、ぜひともご一読いただき、よりよい教育活動の実施にお役立ていただきますようお願いいたします。

研究員・研究テーマ

研究領域	研究テーマ	所属	氏名	職名
教育相談	苦戦している子どもを支援するために －校内支援体制の構築を通して－	江陽小	井澤 りか	養護教諭
学級経営	授業を大切にできる学校の実現 －支援別表を活用した個別支援と授業改善のための 授業評価シートと授業アンケートの活用－	西部中	谷本 直子	教諭
授業研究	児童生徒の「志」や「やる気」を育む授業の創造	介良中	高橋 祐	教諭
	算数を活用した表現力を育む授業の創造	初月小	廣瀬 友樹	教諭
	数学科を中心とする協同的な「授業改善」の推進と 「チーム数学科」の構築	横浜中	澤田 透	教諭
情報教育	ICT機器を活用した授業の創造	秦小	間城 美和	教諭
	情報モラルの指導に関する研究	朝倉小	西村 謙伸	教諭
人権教育	児童の人権感覚を育てていくための人間関係づくり －特別に支援を要する児童との関係づくりを通して－	江ノ口小	門田 真実	教諭
	人権教育の推進に向けて	旭中	尾崎 由美	教諭
特別支援 教育	学習に困難がある児童への支援 －タブレットPCの可能性を探る－	はりまや橋小	田辺 敦子	教諭
	学習困難な児童が楽しく学ぶ効果的なタブレットの活用	一ツ橋小	山本 純也	教諭
	領域・教科を合わせた指導の充実 －特別支援学校中学部における実践を通して－	高知特別 支援学校	汲田喜代子	教諭
	特別支援担当保育士とクラス担任の連携について －インクルーシブ保育のなかでの支援の在り方を考察する－	子ども育成課 ひまわり園	高橋 寛子	主査補
学校事務	学びを支援する学校事務 －学校行事を通しての取組－	江陽小 朝倉第二小	岡崎 寛子 細美 佳子	主幹 主幹

一年間の研究の流れ

領域別定例会（2か月に1回程度）、全体定例会（年1回）をもち、研究員と教育研究所が協力して研究を進めます。

入所式
(5月26日)

調査研究
の開始

中間
報告会
(8月24日)

全体・各領域の実践発表
(公開授業)
(9～12月)

研究紀要
原稿作成
(1月)

終了式
研究発表
(2月17日)

研究紀要
完成・送付
(3月)

「学力対策 第二ステージ」の充実を図るために

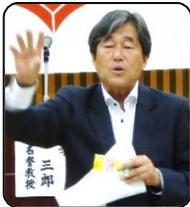
高知市の教育課題解決に向けた七つの研究領域



「研究員制度」とは、教職員が研究員として学校等で実践しながら教育課程や学習指導法、学校・学級経営などについて研究を深め、その研究の成果を高知市全体に普及し、学校教育の振興・充実に資することを目的に、高知市教育研究所が行っている研究制度です。



学校で実践しながら、研究に取り組むことで、教育課題の解消ができるはずです。

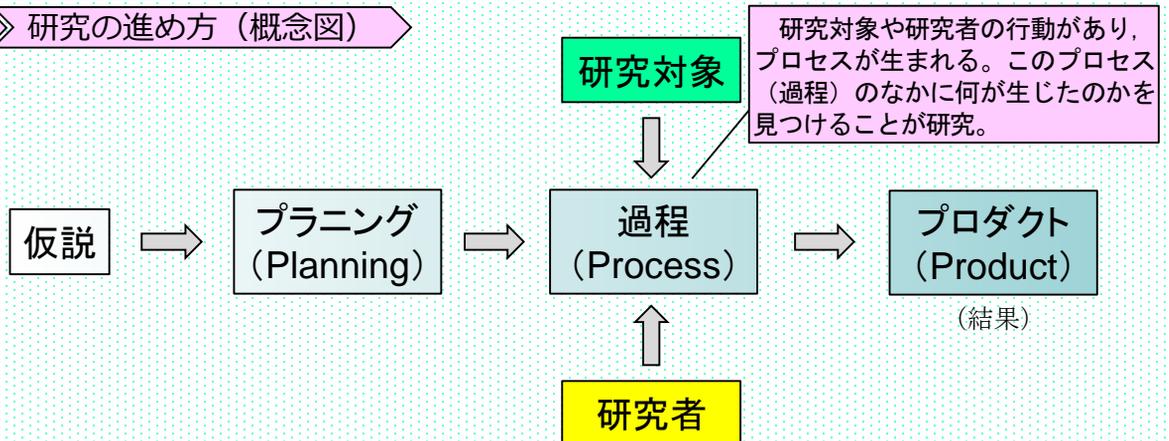


入所式の後、研究員の研究が充実したものになるよう、研究をどのように進めていけばよいのか、また、論文を書く際に留意しなければならないこと等についての学習会が開かれました。

「学校が変わる・子どもが変わる！ー授業実践研究ー」

講師：刈谷三郎 高知大学名誉教授

研究の進め方（概念図）



- 研究テーマ設定について**
三つの具体的なキーワードを見つける。その三つが折り重なるテーマを設定すると、研究の内容や方向性が自他共に分かりやすくなり、研究もより深まる。
 しっかりしたテーマ設定をすることで、研究を進めやすくなる。
- 記録を残す**
 「やったこと」「やってきたこと」「どんなことがあったのか」などについて、できる限り多くの記録（メモ）をとる。10年継続すれば、貴重な客観的データとして手元に残る。
- プロセスを明らかにする**
 「何によって、何がどう変わったのか」に着目し、事例や実践を検証することで研究が濃密になる。プロセス-プロダクト研究において、プロセスのなかに何が生じたのかを見つけることが大切。
- アウトプットすることを恐れずに**
 日々の取組を客観的に検証し、その結果を論文としてまとめ、発信する。成果を抱え込むのではなく、外に向けて発信し共有することは、公職に就く者の責務でもある。